

# 突撃！ インタビュー

## 衛星をつくるひと



今日は、宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センターの仁尾友美さんにお話をうかがいます。仁尾さんは兵庫県生まれ。東京大学大学院で地球惑星物理学を専攻され、学生時代は家庭教師・塾のチューター・タイ焼きの屋台・アイスクリームの試食販売・巫女さんなどさまざまな経験をされたとか。JAXAでは地球観測衛星の地上システムの開発や「TRMM (トリム)」というNASAの衛星運用に関する日本とアメリカとのつなぎ役などに従事し、現在、一児のママさんです。ではさっそく突撃！



みなさんに身近に感じてもらえるような「使える宇宙開発」を目指していきます！  
仁尾 友美



編集部(以下編): 仁尾さんが現在担当されているお仕事は？

仁尾さん(以下仁): 大きく分けて、地球観測衛星(ALOSやGPM)の地上システムの設計・開発と、地球観測衛星データの利用推進の2つの仕事をしています。

編: 「利用推進」というのはどのような仕事なのでしょう？

仁: たとえば気象衛星のデータは天気予報などで馴染み深いと思いますが、同じように地球観測衛星のデータも私たちの身近なところで使われ始めています。たとえば、海水の温度を観測し魚がたぐさん取れそうな漁場を予測したり、美味しいお米の多い田んぼを発見したり…。もちろん、他にも利用分野はないか、国内外の研究機関と検討しています。一例としては、タイなどアジア各国との共同プロジェクトで、今度打ち上げるALOSのデータを国土管理や環境破壊、災害状況把握等のためにすぐに利用できるよう準備を始めています。

編: 現在のお仕事でどんなときにやりがいを感じますか？

仁: 今はまだ、やりがいよりも、多くの悩ましい壁があるのを感じます。たとえば人工衛星が観測したデータを「すぐに」使いたい、長期間にわたって欲しい、同じ地域を繰り返し観測してほしい、などといった要求と現実とのギャップです。実際はデータの処理には時間がかかり、衛星には寿命があり、衛星の軌道も世界で決まっていますから、好き勝手に飛ばすわけにはいきません。でも、これまで蓄積してきたデータを有効に活用して、世界が協力して壁を切り崩すよう進化することは課題でもあり、かつやりがいになると思います。これから思いもよらない分野で活用されていくようになれば、とっても嬉しいですね。

編: お仕事で苦労したことは？

仁: いろんな人がいるもんだなあと思う。国内でも仕事の進め方はいろいろですが、お国変わればより一層。こだわりのポイントが違っていたり、言っ

ていることが予定通り進まないというのはしよちゆうで…。でもそういうお国柄が面白かったりもします。

編: 仁尾さんが宇宙開発を志したきっかけは？

仁: 子供のころから星空を見ては綺麗だなあとロマンチックな気分になっていました。それから宇宙の未知なる謎を探ってみたい!と思うようになりました。また宇宙を分かりやすく書いた本を高校の先生が紹介してくださったのですが、それがきっかけで大学ではその著者である先生のもとで天文学を志しました。

編: 今後JAXAでどんなことをやりたいですか？

仁: 「使える宇宙開発」かな。例えば台風なら、ただ現況の把握だけでなく、被害軽減のために衛星データが応用利用されること。産・学・官が連携し、また国際的にも協力して、もっと幅広く衛星データがいろんな分野で用いられるように促進していくことや、みなさんに身近に感じてもらえるような活動をしていきたいです。

編: 宇宙開発をしていなかったら、今何をしていると思いますか？

仁: プラネタリウムでの星空案内人かな。宇宙の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思うから。あと自分でも最近気づいたのですが、意外と話すことが好きみたいで、司会業とかもいいかも…。つい先日も友人の結婚式の司会をしたのですが、とっても楽しかったです。プライベートコーディネーターなども、「夢ある旅立ちのお手伝い」みたいな感じで、やってみたいですね。

編: マイブームを教えてください！

仁: マイブームは写真いじりです。息子の写真をとっては、いろいろと加工してます。グリーティングカードにして配ったり、WEBアルバムにして身内に公開したり、2005年カレンダーまで作っちゃいました。

編: 育児の意気込みとかありますか？

仁: いつまでもピュアで健康に育ってくれたらそれだけで十分。ほったらかして外で遊ばせておけ～って感じて自由にのびのびと。

編: 最後に読者へ一言お願いします！

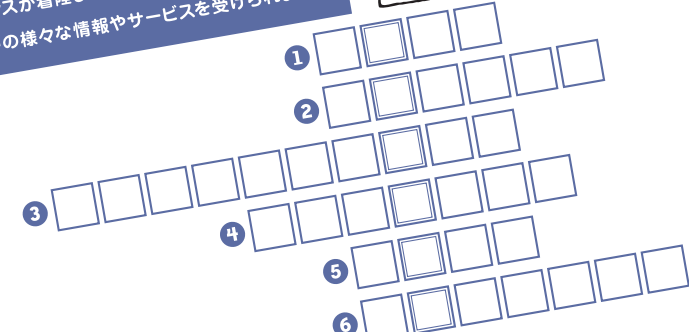
仁: 空を見上げよう！ 外で遊ぼう！ 大宇宙の中にあるこの恵まれた星「地球」を肌で感じて欲しいですね。



## Satellite Crossword? Puzzle

1から4までの答えをマスに書き入れ、ヨコのマスが全部埋まったら完成！  
タテの二重マスをつなげて読むと、テーマにそったキーワードが…。

- 1 携帯電話やノートPCなどで、移動中に情報の送受信を行うことを？
- 2 電話は音声のやりとりですが、さらに映像もやりとりできるものは？
- 3 地上からの電波を効率的に送り返すWINDSの2つの白い円盤は？
- 4 さまざまな時間や場所の星空やその運動、宇宙を再現する装置は？
- 5 今年1月、探査機ハイヘンスが着陸して話題となった土星の衛星は？
- 6 コレのおかげで、世界中の様々な情報やサービスを受けられます。

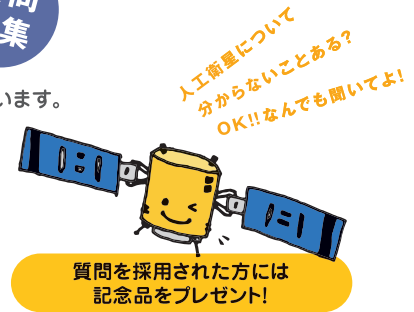


こたえはコチラ! → <http://www.satnavi.jaxa.jp/magazine/>  
JAXA宇宙利用推進本部のホームページに、パズルの解答を掲載しています。ホームページでは、各キーワードについてさらに詳しい解説へのリンクも用意しています。ぜひご活用ください。  
★このミニマガジンの最後のページにも、パズルのこたえがかくされています。探してみよう!

## サテライトQ&A大募集!

サテカフェでは、皆さんからの人工衛星に関する質問を募集しています。  
はがき、FAXまたはメールにてお寄せください。

あてさきはこちらまで  
〒305-8505 つくば市千現 2-1-1 宇宙航空研究開発機構  
宇宙利用推進本部「サテカフェ編集部」Q&A係  
FAX: 029-868-5987 メール: SATCAFE@jaxa.jp  
※ 住所・氏名・年齢・職業(学年)・電話番号を明記してくださいね。



手編みのマフラーに手作りチョコ。  
日本では想いを寄せる男の子から愛を告白するバレンタイン。  
ヨーロッパでは花やカードを贈り合う恋人たちの日です。…今年もヨーロッパスタイルで、お互いに相手を喜ばせるバレンタインもいいなあ。(森)

次回の「SATELLITE★cafe」のキーワードは「水の声を聞くレーダー」です。お楽しみに!